



メーカー管理用です。

プレアス LS (床上排水)

YBC-CL10PU系 YBC-CL10PYU系
YBC-CL10PFU系 YBC-CL10PFYU系

取付業者さまへ

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客様に必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ . . . 「注意しなさい！」
(必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘ . . . 「してはけません！」
(一般的な禁止記号です。)

❗ . . . 「指示通りにしなさい！」
(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 警告

⊘ **水かけ禁止** 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ **分解禁止** 絶対に分解や改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ **ぬれ手禁止** ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※ 感電の原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ **水場使用禁止** バスルーム内など、湿気の多い場所には、設置しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ **禁止** 電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ **禁止** ガタついているコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⊘ **禁止** ● AC100V 以外では使用しないでください。
● タコ足配線など、定格をこえる使い方はしないでください。
※ 火災の原因となります。
(100V 電源使用の場合)

❗ **指示実行** 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※ 感電・火災の原因になります。
(100V 電源使用の場合)

⚠ 注意

❗ **指示実行** 陶器は割れものです。
● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。

❗ **指示実行** 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

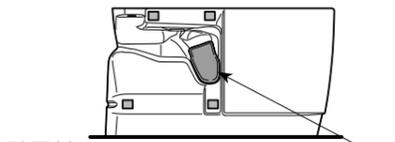
❗ **指示実行** お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

施工前のご確認

開梱時の注意

⊘ **外防露材は外さないでください！**

※ 外してしまうと、再度取り付けることができません。また、結露で床を濡らすことがあります。

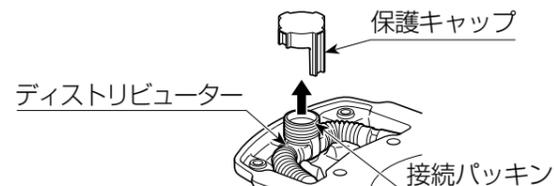


防露材
防露材は便器の結露防止のための部材なので取り外さないでください。

❗ **ディストリビューターの保護キャップは、機能部取り付け直前に必ず外してください！**

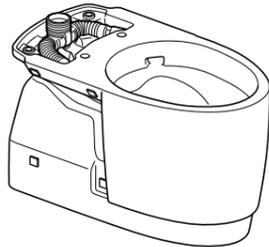
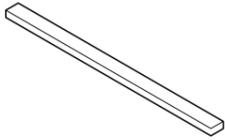
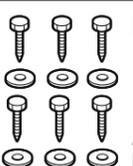
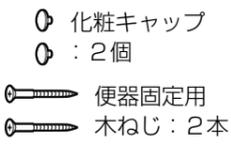
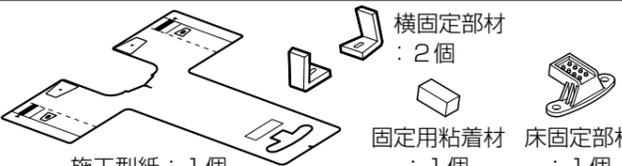
※ 施工前に保護キャップを外してしまうと、接続パッキンにゴミが付着し漏水の原因になります。

※ 保護キャップを外し忘れると、機能部と正常に施工できず漏水の原因になります。



部品の確認 (梱包内容を確認してください。)

品番によって同梱される部材が変わります。

便器	排水ソケット	ソケットアダプター	施工説明書
 便器：1台	 排水ソケット：1個	(給排水統合仕様の場合)  床上排水用 排水合流アダプター：1個	 施工説明書：1部
耐火カバーセット			
(耐火仕様の場合)  耐火カバー：1個	 耐火カバー用木ねじ：2本 (Φ6×40) ワッシャー：2個 (AY仕様を手配の場合) AYボルト (AY-23W：2本) が同梱されます。	 耐火緩衝材：1枚	 施工型紙：1枚
固定用木ねじ類  固定用木ねじ：6本 (Φ6×40) ワッシャー：6個 (AY仕様の場合) AYボルト (AY-23W：6本) が同梱されます。	ビスキャップ付木ねじ  化粧キャップ：2個 便器固定用木ねじ：2本	固定用部材セット  横固定部材：2個 固定用粘着材：1個 床固定部材：1個 施工型紙：1個	

使用する水について

● 機能部をお使いの際は同梱している施工説明書に記載の水質・水圧条件で接続ください。

止水栓について

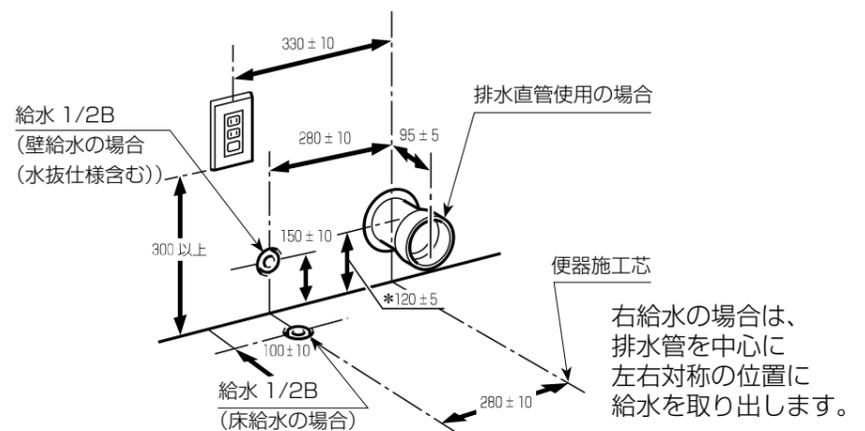
- 機能部に同梱されている止水栓を使用します。
- 標準施工図にしたがって、給水管を取り出してください。
- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ (LF-7T を推奨) などでカバーをしてください。
※ 通水時に異物が入り、止水不良となる恐れがあります。
- 止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調整してください。
- 給水管はぐらつかないように、しっかりと固定してください。
※ 漏水、給水管の破損の原因になります。

排水高さについて

- 床上排水 120mm です。
- 排水位置が指定の位置であることを確認してください。
※ 排水管が壁寄りに取り出されている場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。
- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。
※ 異物が入り、洗浄不良となる恐れがあります。

設置場所の確認

※ コンセントの詳細は、機能部の施工説明書の「電源の確認」を参照ください。



❗ **注意** ● 給水管、排水管の取出し位置は、図面寸法を守ってください。
※ 誤って排水管を壁寄りに取り出した場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。

施工手順

は本書を、 は機能部同梱の施工説明書に従って正しく取り付けてください。

- 1** 止水栓の取付け
※機能部同梱の止水栓を使用
- 2** (給排水統合仕様の場合)
キャビネット・トリアップカバー・
手洗器の取付け
- 3** 排水管の取出し
- 4** (給排水統合仕様の場合)
排水合流アダプターの取付け
- 5** (耐火仕様便器の場合)
耐火カバーの取付け準備
- 6** 排水ソケットの位置決めと固定
- 7** (耐火仕様便器の場合)
耐火カバーの取付け
- 8** 固定用部材の位置決めと固定
- 9** 便器の取付け
- 10** 機能部の取付け・試運転
- 11** サイドカバーの取付け

施工のポイント

Point 1
塩ビ接続用パッキンの表面と排水直管の内面に石けん水を塗布して施工すること。
= **6** 排水ソケットの位置決めと固定

Point 2
排水ソケット上部が床と水平となるように排水直管に接続し、排水ソケットの高さを調整してください。
調整可能な範囲は支持部から 115 ~ 125 mm です。
※排水芯高さが床から 115 ~ 119 mm の場合は、支持部を 10 mm 切断してから施工してください。切断しないと排水ソケットの取付けができません。

Point 3
施工型紙を使用して位置決めすること。
= **8** 固定用部材の位置決めと固定

Point 4
施工型紙の一部を切り取った後に床に固定すること。
= **8** 固定用部材の位置決めと固定

Point 5
切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取除いてください。
※便器の固定不良の原因になります。
= **9** 便器の取付け

Point 6
気温が低い場合、固定用粘着材が固くなることがあります。
①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。
② 20 ~ 30℃ のぬるま湯で温めるなど、柔らかくしてからご使用ください。
※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて温めてください。
= **9** 便器の取付け

Point 7
取付け時は便器側面の穴を施工型紙に合わせて施工すること。
= **9** 便器の取付け

Point 8
ディストリビューターの保護キャップは、機能部取り付け直前に必ず外してください。
= **10** 機能部の取付け・試運転

Point 9
固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。
= 便器の取付け後のご確認

Point 10
機能部の取付け・試運転

施工方法

1 止水栓の取付け

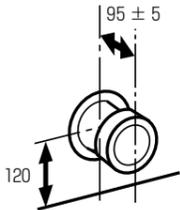
機能部同梱の止水栓を、同じく同梱の施工説を読んで施工してください。

2 (給排水統合仕様の場合) キャビネット・トラップカバー・手洗器の取付け

施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

3 排水管の取出し

排水管を施工寸法通りに取り出す。



注意

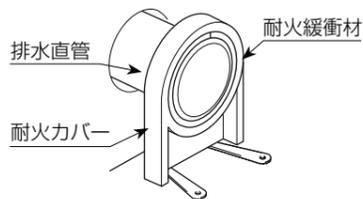
- 排水管は逆勾配とならないようにしてください。
※ 逆勾配になった場合、洗浄不良の原因になります。
- 防振シートを使用する場合は、防振シートを使用しない場合より排水高さを5mm高くしてください。

4 (給排水統合仕様の場合) 排水合流アダプターの取付け

排水ソケット取付前にリトイレ手洗いカウンターの施工説明書をご覧ください。

5 (耐火仕様便器の場合) 耐火カバーの取付け準備

(1) 耐火カバーを排水直管に通す。



注意

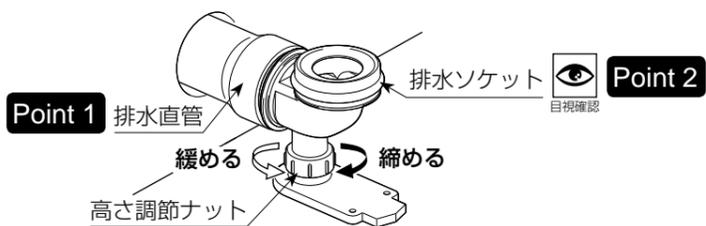
- 耐火緩衝材の外部のアルミカバーを破いたり、切断しないでください。
※ 漏水や臭気発生の原因になります。
- CF-D11P (鋼管製) など外径が小さい排水直管を使用する場合は、耐火カバーとの間に隙間があるため、同梱の耐火緩衝材を耐火カバーの内周に取り付けてください。
※ 耐火能力が低下し、延焼する恐れがあります。



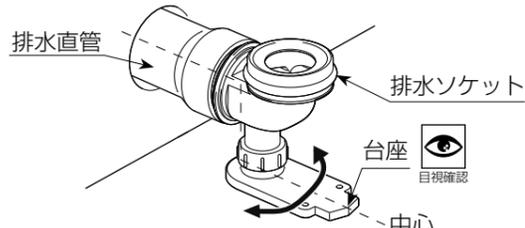
6 排水ソケットの位置決めと固定

(1) 排水ソケットの高さを調整し、排水直管に接続する。
高さ調節ナットをゆるめ、排水ソケット上部が水平となるように排水直管と接続します。

Point 1 ● 塩ビ接続用パッキンの表面と排水直管の内面に石けん水を塗布して施工すること。

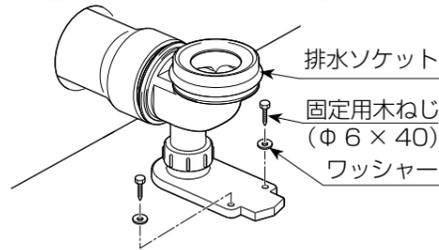


(2) 台座の方向を調節し、位置決めする。
台座中心が排水直管の中心・直線上になるよう調整し、位置決めをします。

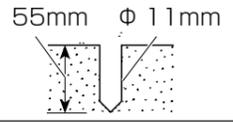


6 排水ソケットの位置決めと固定

(3) 固定用木ねじで床に固定する。



床がタイルまたはコンクリートの場合、AY ボルト (AY-23W) を使用するため下穴 (径 11、深さ 55) を開ける。



(4) 排水ソケットの高さ調節ナットを締め、排水ソケットの高さを固定する。

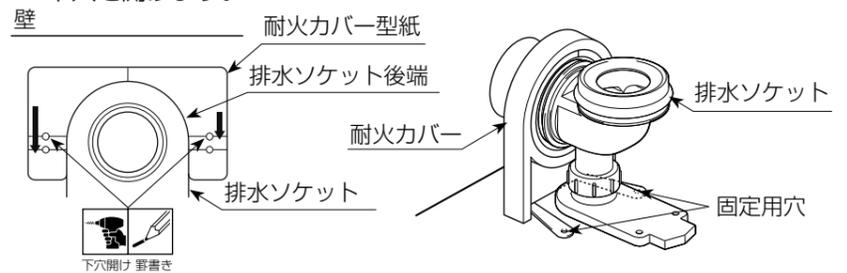
排水ソケット上部が水平となるようにして、高さ調節ナットを締め、排水ソケット本体と台座を固定する。

注意

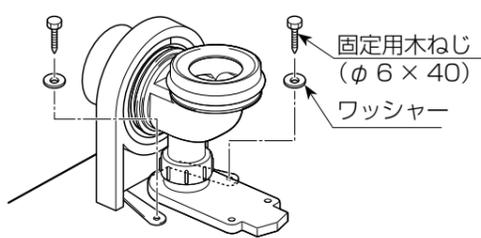
- Point 2** ● 排水ソケット本体の上面が水平となるように接続してください。
※ 施工不良となり、漏水する恐れがあります。

7 (耐火仕様便器の場合) 耐火カバーの取付け

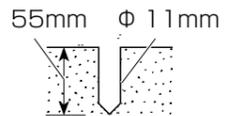
(1) 耐火カバー型紙を使用し、けがき・下穴を開ける。
耐火カバー型紙を排水ソケットの後端に合わせ、固定用穴の位置をけがき・下穴を開けます。



(2) 耐火カバーを固定用木ねじ固定する。



床がタイルまたはコンクリートの場合、AY ボルト (AY-23W) を使用するため下穴 (径 11、深さ 55) を開ける。



8 固定用部材の位置決めと固定

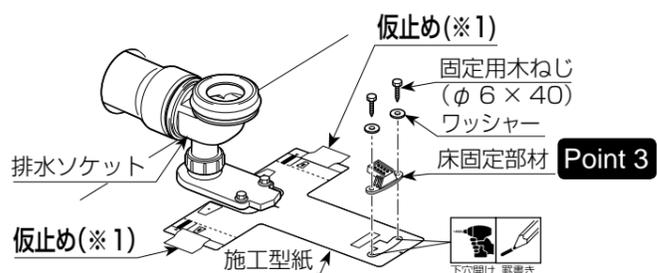
(1) 施工型紙を仮止めする。
排水ソケットの後端に合わせて施工型紙をマスキングテープ等で仮止めします。※ 1

(2) 床固定部材の穴位置をけがき・下穴を開ける。

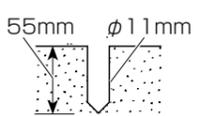
Point 3 ● 施工型紙に合わせて床固定部材の穴位置をけがき・下穴を開けます。

(3) 床固定部材を固定する。

施工型紙に合わせて床固定部材を固定用木ねじ・ワッシャー (または AY ボルト) を使用し、固定します。

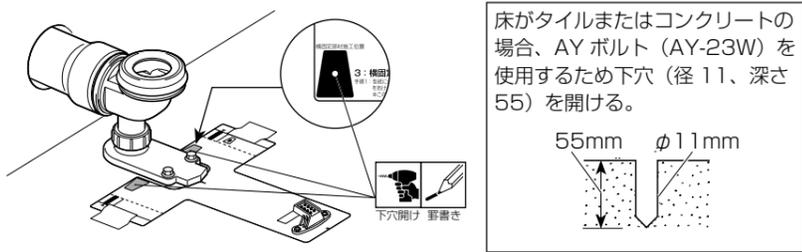


床がタイルまたはコンクリートの場合、AY ボルト (AY-23W) を使用するため下穴 (径 11、深さ 55) を開ける。



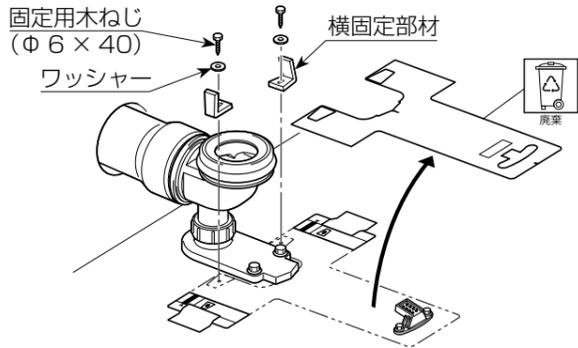
8 固定用部材の位置決めと固定

- (4) 横固定部材の穴位置をけがき・下穴を開ける。
 施工型紙に合わせて横固定部材の穴位置をけがき・下穴を開けます。



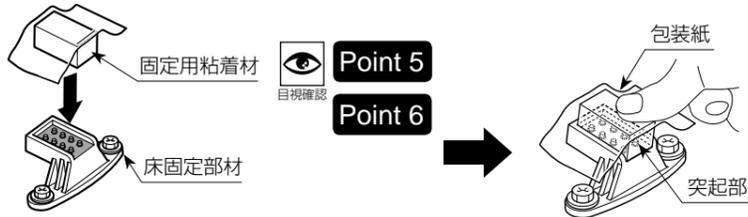
Point 4 ●この時点では横固定部材は設置しないでください。

- (5) 施工型紙の一部を切り取り、横固定部材を床に固定する。
 仮止めした施工型紙の両端以外を切り取り、横固定部材を固定用木ねじまたはAYボルトを使用し固定します。



9 便器の取付け

- (1) 固定用粘着材を床固定部材に置く。
 固定用粘着材を床固定部材の中心に押し付けながら置きます。
 固定用粘着材を床固定部材に押し付ける。
- (2) 包装紙を剥がす。
 固定用粘着材が剥がれないように固定用粘着材を押さえながら包装紙を剥がします。



△注意

- 固定用粘着材に水気や汚れが付かないようにしてください。
 ※便器の固定不良の原因になります。

Point 5 ●切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取除いてください。
 ※便器の固定不良の原因になります。

Point 6 ●気温が低い場合、固定用粘着材が固くなる場合があります。
 ①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。
 ②20～30℃のぬるま湯で温めるなど、柔らかくしてからご使用ください。
 ※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて温めてください。

- 防振シートを使用の場合は、防振シートの施工説明書を参照して施工してください。
 ※固定不良となる可能性があります。

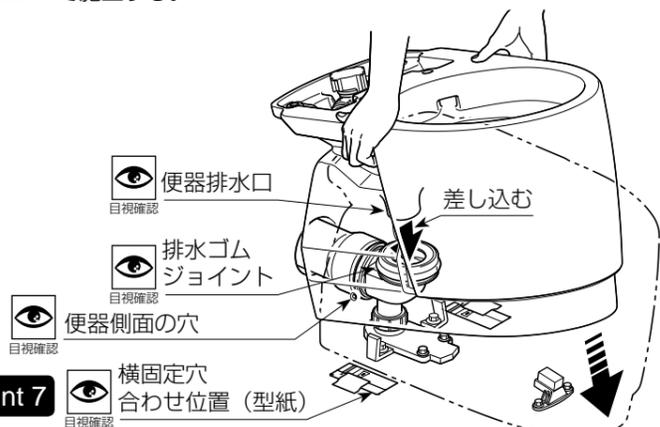
- 床固定部材の全ての突起部が粘着材に食い込む位置で押し付けてください。
 ※固定用粘着材の位置ずれやみ出しがあると、固定不良となる可能性があります。

- 床固定部材に粘着材を押し付ける力は粘着材が突起に食い込む程度とし、強く押し付けすぎないようにしてください。
 ※押し付けすぎると固定不良となる可能性があります。



- (3) 便器と排水ソケットを接続し、固定用粘着材を圧着する。
 ①便器を持ち上げ、便器前方を浮かせたまま便器排水口を排水ソケットのゴムジョイントに差し込みます。

Point 7 ●便器側面の穴を施工型紙の「便器側面の固定穴合わせ位置」に合わせて施工する。



②施工型紙で左右・前後の位置を合わせます。

9 便器の取付け

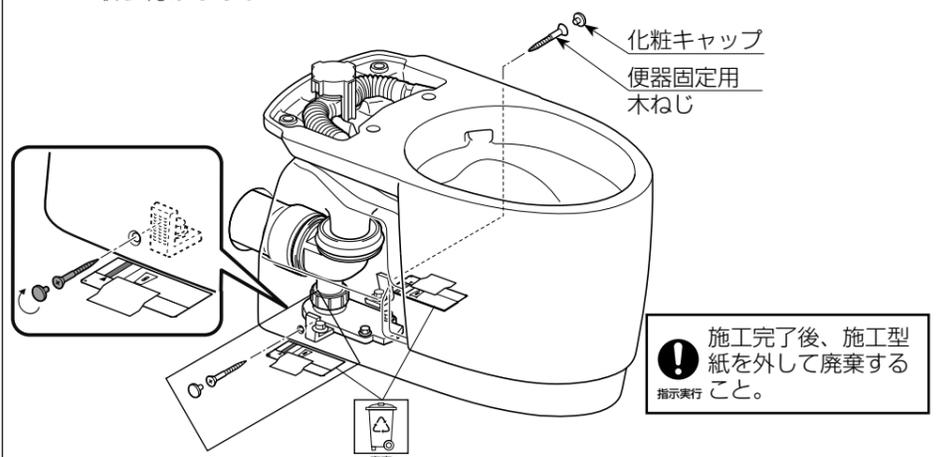
- ③便器と床固定部材を固定用粘着材で圧着させます。
 便器をゆっくり下ろしてから、床と便器の隙間がなくなるまで便器前側を押し下げます。

△注意

- 便器の台座を排水ソケットの上に乗せないでください。
 ※排水ソケットが破損したり、排水ゴムジョイントを傷めて漏水する恐れがあります。
- 便器排水口は排水ゴムジョイントの中心にくるように、便器の前後左右がずれないようにしてください。
 ※汚物、トイレトペーパーなどのつまりの原因になります。
- 便器を外す際、便器後部にある固定用木ねじで便器をキズつけないように注意してください。



- (4) 便器を便器固定用木ねじで固定し、化粧キャップをつける。
 便器側面を便器固定用木ねじで固定し、化粧キャップを時計回りに回して取り付けます。



△注意

- 便器固定用木ねじは、左右交互に少しずつ締め、締め過ぎないようにしてください。
 ※便器の固定不良や破損の原因になります。
- 化粧キャップはねじ固定構造となっています。化粧キャップは必ず回して着脱してください。
 ※逆に回したり、無理に引き剥がした場合、破損の恐れがあります。

10 機能部の取付け・試運転

機能部の施工説明書に従って取り付けてください。

- Point 8** ●ディストリビューターの保護キャップは、機能部取り付け直前に必ず外してください。
 ※施工前に保護キャップを外してしまうと、パッキンにゴミが付着し漏水が発生する恐れがあります。



11 サイドカバーの取付け

機能部に同梱の施工説明書に従って取り付けてください。
 サイドカバーは機能部に同梱されています。

便器の取付後のご確認

- 陶器表面にキズなどが無いことを確認してください。
 スジ状の線がついた場合には、市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、擦り洗いをして除去してください。それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置した後、布で拭き取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。
 ※洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。

外観汚れ処置方法について、参考動画があります。

- 詳細は右から読み取って、動画をご覧ください。
 ※通信料はお客さまのご負担となります。
 ※お使いの環境・端末によっては、閲覧できない場合があります。
 ※実物と動画のデザインが異なる場合があります。



- 施工完了後は、必ず試運転をして「漏水検査、水漏れ検査」を行ってください。
 検査内容は、機能部の施工説明書を確認ください。
 ※取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 - 施工完了からお客さまにお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、水栓や給水ホースから水を抜いてください。
 - 施工完了からしばらく長期間にわたり通水をしなない場合は、トラップに水を入れておいてください。
 ※排水管からの臭気ガスにより、商品の内部金具がさびる恐れがあります。
 - 給水管接続及び通水検査、水漏れ点検は必ず水道工事店様が行ってください。
- Point 9** ●固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後24時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。
 ※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。
- 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。
 - 施工終了後 本書を取扱説明書とともに、お客さまにお渡しください。